

4年生以下 課題文③

휴대폰

띠리리링 띠리리링

학원

학~원

하~악~원

갈 시간

운동장에 공차는 친구들

놀이터에 모래 장난 하는 친구들

부러운 마음으로

물끄러미 바라보면서

때와 장소도 모르고

아무 때 아무 곳에서나

울고 또 우는

엄마가 달아준

강아지 목걸이

내 생각 내 마음

내 자유를

빼앗아 가는지도 모르고

오히려 나를

부러워하는 친구들도

세상도 생각도

자유로운데

내 자유는

휴대폰 속에 갇혔어요.

けいたい電話

りりりん りりりん

じゅく

じゅ〜く

じゅ〜う〜く (に)

行く時間

うんどうじょう
運動場でボールをける友だちたち

あそび場で砂^{すな}あそびをする友だちたち

うらやましい^{きもち}気持ちで

ぼかんと見つめながら

時と場所^{ばしょ}も知らずに

どんな時もどんな場所^{ばしょ}でも

ないてまたないて

おかあさんがつけてくれた

子犬の首かざり

わたしの考えわたしの^{きもち}気持ち

わたしの^{じゆう}自由を

うばっていくのも知らずに

むしろわたしを

うらやましがる友だちも

せかい
世界も考えも

じゆう
自由なのに

わたしの^{じゆう}自由は

けいたい電話の中にとじこめられました。